

令和7年1月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年1月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」などが増加したことから、対前年同月比4.3%の増加となった。輸入額は「液化天然ガス」「アルミニウム及び同合金」「石油製品」などが増加したことから、同19.4%の増加となった。その結果、差引額は4,093億円（同15.3%の減少）となった。

名古屋港における輸入額が、令和6年7月以来6か月ぶりに過去最高を更新
名古屋港における差引額は、平成23年6月以降164ヶ月（13年8ヶ月）連続 全国港別（空港含む）第1位

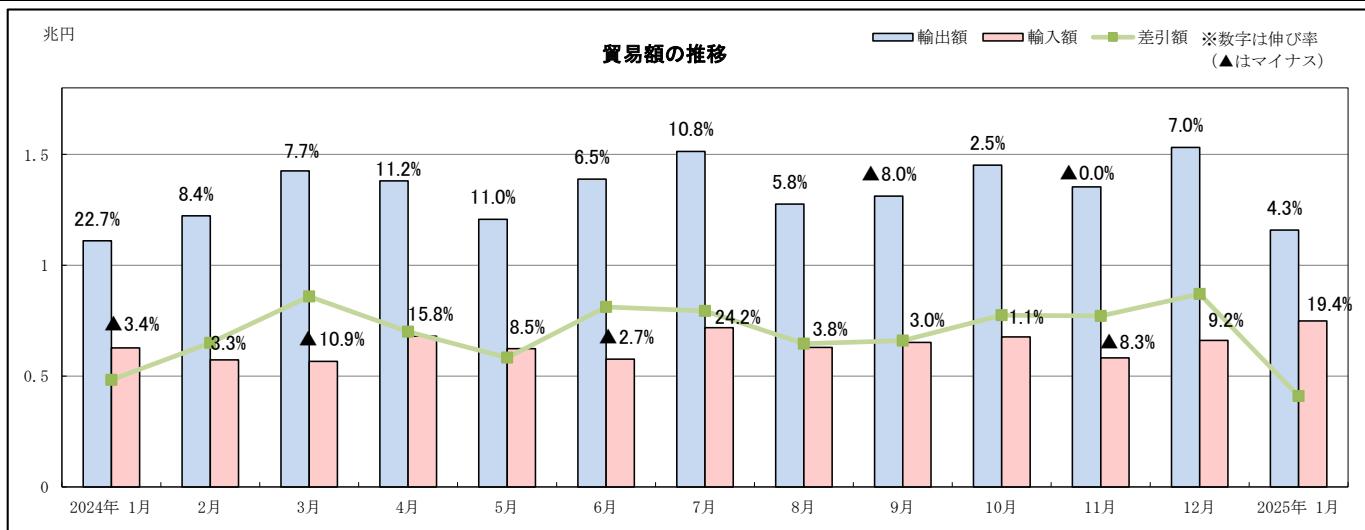
注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆1,585億円	+4.3%	★ 7,492億円	+19.4%	4,093億円	▲15.3%
	2ヶ月連続の増加			2ヶ月連続の増加		
	順位 過去30位	1月として1位	順位 過去1位	1月として1位	順位 過去209位	1月として6位
管内（名港シェア）	1兆7,659億円 (65.6%)		1兆3,496億円 (55.5%)		4,163億円 (—)	
全国（名港シェア）	7兆8,637億円 (14.7%)		10兆6,225億円 (7.1%)		▲2兆7,588億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出 増加 (1)	自動車	4,165億円	+24.2%	+7.3	4ヶ月連続の増加
	自動車の部分品	1,238億円	▲17.3%	▲2.3	7ヶ月連続の減少
輸入 増加 (1)	液化天然ガス	670億円	+17.1%	+1.6	3ヶ月ぶりの増加
	アルミニウム及び同合金	371億円	+26.9%	+1.3	3ヶ月連続の増加
	石油製品	160億円	+90.1%	+1.2	8ヶ月連続の増加



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。